

平成23年度 授業改善全体計画【あさひプラン】

日本国憲法 教育基本法 学校教育法・学習指導要領 東京都教育目標 豊島区教育目標 豊島区教育ビジョン 2010	学校教育目標 【あ】明るく健康な子 【さ】最後までやりぬく子 【ひ】人のことを思いやる子	児童の実態 保護者、地域の期待や願い 教職員の願い 社会の要請
---	---	--

学校経営方針 ①子どもが満足する学校 ②保護者が安心する学校 ③地域が誇りに思う学校 【学力に関して】 ○小規模校のよさを生かし、一人一人に合わせたきめ細かな指導を行い、基礎基本の定着を図る。 ○思考力・判断力・表現力の育成に向けて、問題解決的な学習を重視し、ICT機器を活用し推進する。	魅力ある学校づくりの推進
--	---------------------

各教科 ・ねらいの明確化 ・児童の学習意欲をかきたてる課題提示の工夫【ICT機器の活用】 ・問題解決型学習の定着 ・児童の思考の流れを整理する板書の工夫、ノート指導の充実 ・児童の多様な考えを引き出す発問の工夫 ・言語活動と体験活動の充実	本校の児童に伸ばしたい力 思考力・判断力・表現力の育成 ・見通しをもって、学習に取り組む ・自分の考えをもつ ・自分の考えを分かりやすく、効果的に伝える ・多様な表現方法を身に付け、選択する ・自分の考えと友達の考えとを比較したり関連付けたりする ・話し合い活動を通して、よりよい考えを導きだす。 基礎基本の定着 ・漢字、計算、読書に継続的に取り組む。(学習習慣の確立) 学ぶ意欲 ・学習を生活に生かす ・興味をもって、身のまわりの事象を見つめる (体験活動の重視)	道徳 「豊かな心の育成」 ・体験活動の充実【実践的態度】 ・各教科、領域と関連付けた授業 ・道徳授業地区公開講座の充実 ・ボランティア体験の充実 【家庭・地域との連携】 生活指導 「基本的な生活習慣の確立」 ・重点目標を浸透させる全校指導と学級指導の充実 「思いやりの心」 ・いじめの早期発見、カウンセラーと連携した授業づくり 特別活動 「豊かな人間性の育成」 ・異学年交流の活用と工夫 ・ねらいが明確な学校行事の創造 ・話し合い活動の充実 外国語活動 ・コミュニケーション能力を高める多様な活動
総合的な学習の時間 「学びのスパイラルの確立」 ・探究、習得、活用のサイクルを確立した単元設定 ・各教科、領域との関連を整理した年間指導計画 ・体験活動、言語活動(協同的学び)を計画的に取り入れた授業		
進路指導 ・人とのふれ合いを重視した活動		

本校における授業改善の取り組み

授業改善に向けた視点			授業改善を推進するための方策
指導体制の工夫 ・少人数指導 ・授業づくり支援員の活用 個に応じた指導の充実 ・学力調査をもとに、児童のつまずきを分析 ・個に応じた補習プラン	教材・教具の工夫 ・ICTの効果的活用 ・地域の学習材活用 ・教材の共有化 評価の工夫 ・授業評価の実施 ・評価の活用	家庭・地域との連携 ・個に応じた指導を展開するための保護者との連携 ・学校関係者評価の活用	○週案簿の活用(日常の授業評価) ・時数管理の徹底、PDCAの確立 ○校内研究の活性化 ・問題解決学習の定着「朝日学びのスタイル」の確立・電子黒板の効果的活用 ○授業改善の取り組みの検証 ・2ヶ月に1回、取組状況を自己評価、改善プランを作成

校内研究 「確かな学力を身に付け、ねばり強く学ぶ子どもの育成 ～解決できた喜び、学び合う楽しさを引き出す指導の工夫(算数科)～ ○問題解決学習の定着「朝日スタイル」の確立 ○学ぶ意欲をかきたてる課題提示の工夫「電子黒板の効果的な活用」 ○説明する活動の充実
--

授業改善推進プラン 「できた！分かった！楽しい授業を目指して」

○個別の学習プラン

学力調査の結果を分析し、つまずきの状況を把握し、児童に合った補充学習の計画をたてています。「できる！わかる！」まで、しっかりと複数の教員が指導体制を組み、指導します。

○「朝日スタイル」にもとづく「分かりやすい授業」

児童の考える力を伸ばすための「授業スタイル」を全教員で共通理解し、実践しています。

本校の学力向上の重点取り組み

豊島区学力調査の結果をもとに、朝日小では、2学期から次のような改善を行っていきます。

<課題>

<改善策>

